

消 防 う さ



※写真は南部分署に配備されているポンプ車、水槽付ポンプ車、高規格救急車です。

特 集

- ◎ 秋季全国火災予防運動
- ◎ 新職員紹介
- ◎ 新指令システムを導入しました
- ◎ 救急車の適正利用について
- ◎ 消防署が行う訓練の様子
- ◎ 消防署からのお知らせ

No. 36

平成26年11月5日発行

宇佐市消防本部
 宇佐市大字石田176番地
 TEL 32-0119
 FAX 33-0621
 火災の問い合わせ
 TEL 33-1900

火 事 ・ 救 急 ・ 救 助 は 1 1 9

火災件数 14件 救急件数 2069件

平成26年9月30日現在

消防署が行う訓練の様子

あらゆる災害に対処するため、資機材を活用し消防、救助、救急隊で連携し日々様々な訓練を行っています。



消防署からのお知らせ

宇佐市火災予防条例の一部が改正されました

平成25年8月15日、京都府福知山市で行われた花火大会において多数の死傷者が発生する火災が起こり、今回の宇佐市火災予防条例の一部改正することとなりました。

内容としましては、次のとおりです。

◎ 多数の者が集合するお祭りや催し物などで露店等を開設して火気器具などを使用する場合には、消火器の設置が義務付けられました。

また、その場合には条例で定められた様式（市ホームページにてダウンロード可）にて3日前までに消防署へ届出を行わなければなりません。

不明な点がございましたらお気軽に宇佐消防署消防課消防係までお問い合わせください。

救急講習を受講してみませんか

心肺蘇生法の講習を開催します。また、講習後には講習修了証を交付しますので友人など誘って気軽に参加してください。（以前に普通救命講習を受講したことがある方は、救命技能を維持向上させるために2年から3年の間隔で定期的を受講することをお勧めします。）

・講習日時 平成26年12月14日（日） 午前9時～午前12時まで
 平成27年3月8日（日） 午前9時～午前12時まで

・場所 宇佐消防署 2階会議室

・定員（対象者） 30人（中学生以上とし、定員になり次第受付終了）

・講習内容 普通救命講習1（心肺蘇生法・AEDの使用法・止血法・窒息時の対応など）

受講料は無料です。申込書にある必要事項に記入の上、下記のTEL、FAX又はEmailで受講日前日まで申し込みを行ってください。（土、日、休日可）不明な点はお気軽にお問い合わせください。

申込書は宇佐市ホームページ（www.city.usa.oita.jp）からダウンロード可能です。

申し込み先 宇佐消防署 救急係 TEL 32-0119（内線64） FAX 33-0621

Email 5kyuukyuu04@city.usa.oita.jp

消防救急無線をデジタル化し、高機能消防指令システムを導入しました



災害形態の複雑化や災害出動件数が増加し、より迅速で正確な災害状況の把握が急務となっております。消防本部では、本年4月に消防指令システムの更新と消防救急デジタル無線の整備を行い、最先端の技術を駆使して24時間万全の体制で災害に対応できる設備を整えました。消防指令システムを更新したことで災害地点をより早く確定することができるようになり、また無線をデジタル化したことで秘匿性の向上や、安定した無線通信をすることが可能となりました。

救急車の適正な利用のお願い



その救急車本当に必要ですか？

助かる **命** があります

譲ってあげてください。本当に必要な人にその救急車

宇佐消防署では市民のみなさんの大切な生命を守るため、市内に救急車を配備して救急要請に対応しています。

しかし、近年救急要請が増加しており、中には緊急性のない場合の要請も多くなっています。このままでは、救急車が不足してしまう恐れがあります。

ただし、緊急に病院へ行かなければならない病気やケガなどの場合は、迷わず119番通報してください。

救急車を本当に必要とする人のため、少しでも早く病院へ搬送するために、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



平成26年 秋季全国火災予防運動

11月9日～11月15日

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とします。

本年度は『もういいかい 火を消すまでは まあだだよ』を標語に、火災への注意を呼びかけています。



住宅防火 いのちを守る 7つのポイント -3つの習慣・4つの対策-

- 3つの習慣
1. 寝たばこは、絶対にやめる。
 2. ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
 3. ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

1. 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
2. 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
3. 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
4. お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

新 職 員 紹 介



かのう だいじろう
加納大二郎

私は生まれ育った宇佐市に貢献したいと思い消防士を志願しました。信頼される消防士になれるよう何事にも全力で取り組み頑張ります。



あさかわこうすけ
麻川昂佑

生まれ育った土地のために働ける感謝を忘れず、自覚と向上心を持ってがんばります。よろしくお願いします。



わたなべこうへい
渡邊浩平

まだまだ未熟ですが、1日も早く一人前の消防士になれるよう頑張ります。よろしくお願いします。



かわたにともひろ
川谷知寛

生まれ育った宇佐市を守っていきけるように訓練などに一生懸命に励み、みなさんから信頼されるようになりたいと思います。よろしくお願いします。



おとべあきひろ
乙部亮宏

地元宇佐市のために精一杯頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。